

RCNP 研究会 報告書

- 1) タイトル：「中性子と原子で探る基礎物理」
- 2) 開催日：平成 29 年 7 月 4、5 日
- 3) 開催場所：核物理研究センター6 階大講義室
- 4) 参加者：約 50 名（内 4 名が外国から参加）
- 5) 開催費用：採択額 400,000 円、使用額 393,554 円
他からの支援はありません。
- 6) 研究会費使途：旅費、宿泊費補助 13 名（学生 8 名）
九州大学（4 名）、名古屋大学（2 名）、埼玉大学（2 名）東北大学（1 名）、
京都大学（1 名）、理研（1 名）、KEK（1 名）、外国人国内旅費（1 名）
- 7) 世話人
清水裕彦、酒見泰寛、三島賢二、川崎真介、百瀬孝昌、保坂淳、久野純治、徳宿克夫、
旭耕一郎、谷畑勇夫、福山武志、畑中吉治
- 8) 研究会の概要

国内外での中性子、原子、 μ 粒子等を用いた基礎物理の実験研究の現状と今後を展望するとともに、理論から取り組みを議論しました。主なテーマは以下です。

- ・超冷中性子の生成と利用
- ・中性子の電気双極子モーメント
- ・原子の電気双極子モーメント
- ・中性子-原子核散乱に時間反転対称性の破れ
- ・中性子の寿命
- ・熱中性子吸収天体核反応
- ・ μ 粒子の $g-2$ /EDM
- ・muonium、muonic-Hydrogen

なお、この研究会に引き続いて奈良で国際会議 NOP (Neutron Optics and Physics) が開催され、関連する外国人研究者 3 名の参加がありました。

研究会では大学院生を含む若手研究者の発表が多くありました。今後も継続して、類似の研究会を開催したいと希望しています。核物理研究センターの本研究会への補助に感謝するとともに、今後の援助を強く期待しています。

(平成 29 年 8 月 25 日、畑中吉治)